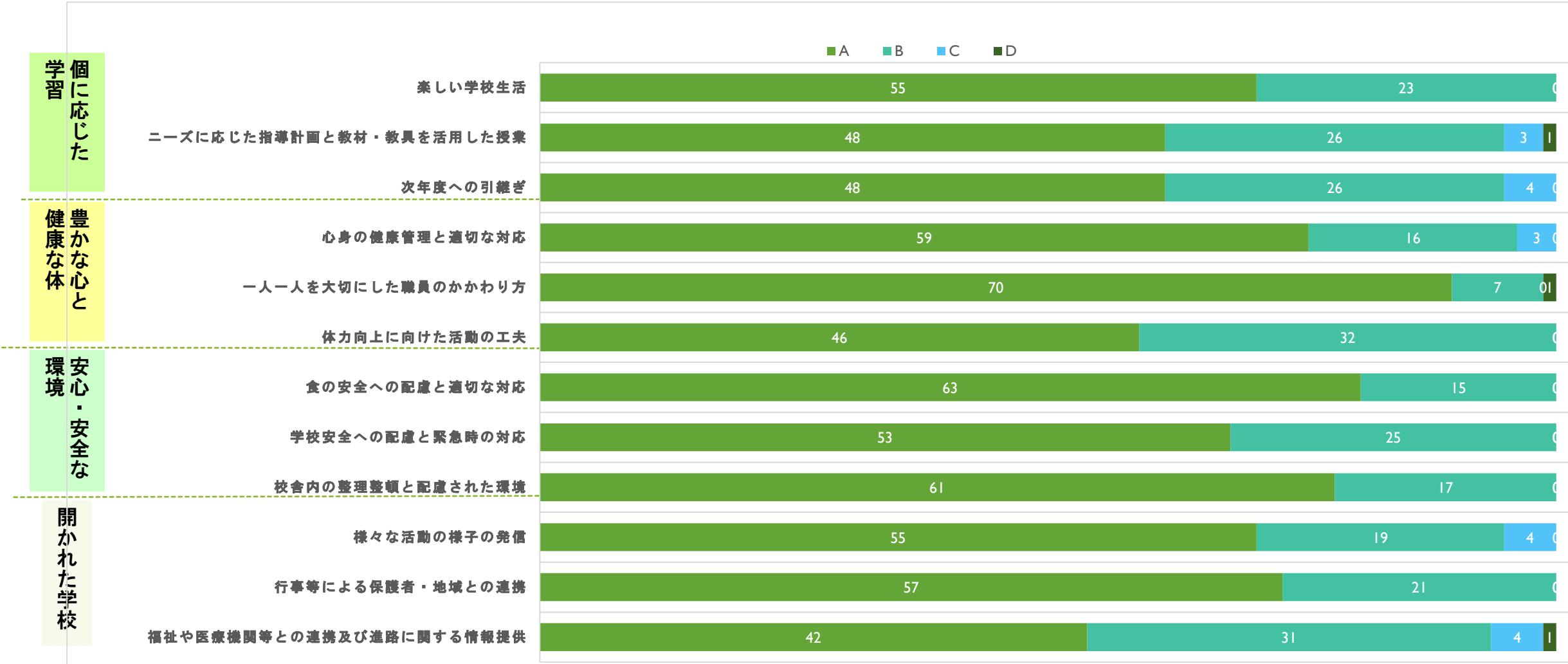

令和7年度 学校評価

～学校アンケート結果より～

岐阜市立岐阜特別支援学校

小学部



小学部学校評価考察

①高評価を得た内容

「「楽しい学校生活」「学校安全への配慮と緊急時の対応」「食の安全への配慮と緊急時の対応」が100%と評価が高い。昨年度「楽しい学校」は課題とすべき内容であり、大きく改善することができた。これは、仲間と活動する楽しさを実感できる活動や一人一人のよさや思いを生かし成功体験を積むという活動を仕組むことができたからだと考える。今後も、児童が安全・安心に学校生活を送り、一人一人の可能性を伸ばし「楽しい」と感じられる生活を継続していきたい。

小学部学校評価考察

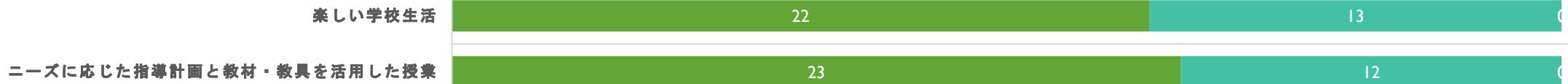
②課題とすべき内容

「福祉や医療機関等との連携及び進路に関する情報提供」が相対的に下位となっている。児童の実態や保護者の依頼などから、医療機関受診の同席やジョイントシートの作成、福祉事業所の参観やケース会の実施、進路に関わる案内の発信を行った。今後も、児童の実態や変化を共有し、福祉や医療機関等との同じ方向性をもって支援が行えるよう、連携を一層深めていきたい。

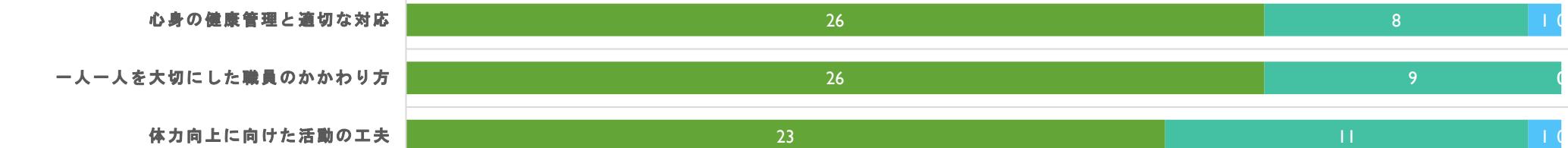
中学部

■ A ■ B ■ C ■ D

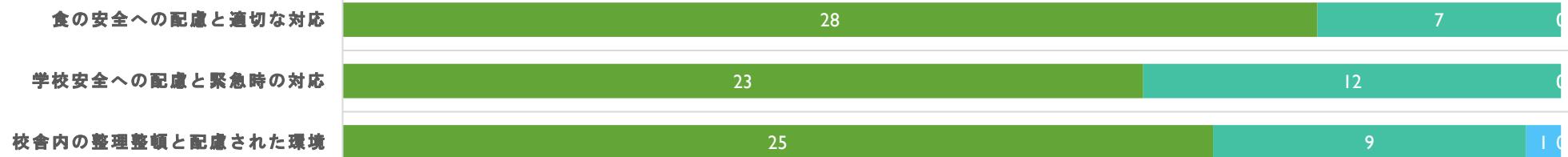
学習に個人に応じた



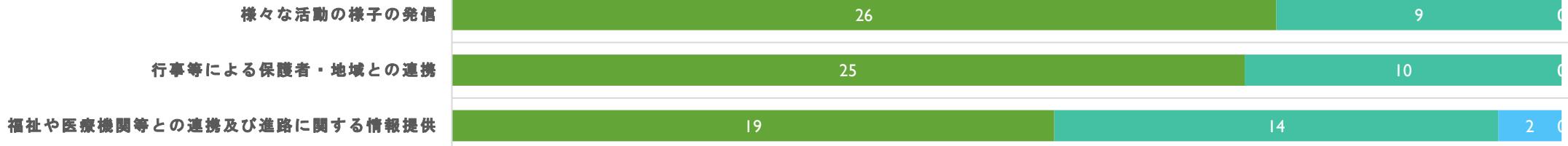
豊かな心と健康な体



安心・安全な環境



開かれた学校



中学部学校評価の考察

①高評価を得た内容

「楽しい学校生活」「ニーズに応じた指導計画と教材・教具を活用した授業」「次年度への引継ぎ」が100%の高評価となっている。その背景には、チーム担任制を導入し、学部としていろいろな教職員との関りや、生徒の特性を理解した活動の工夫がある。これからも学級や学年の枠を超えた指導援助ができるよう共通理解を図りながら、生徒が「楽しい」「やってみよう」と前向きに思えるよう取組んでいきたい。

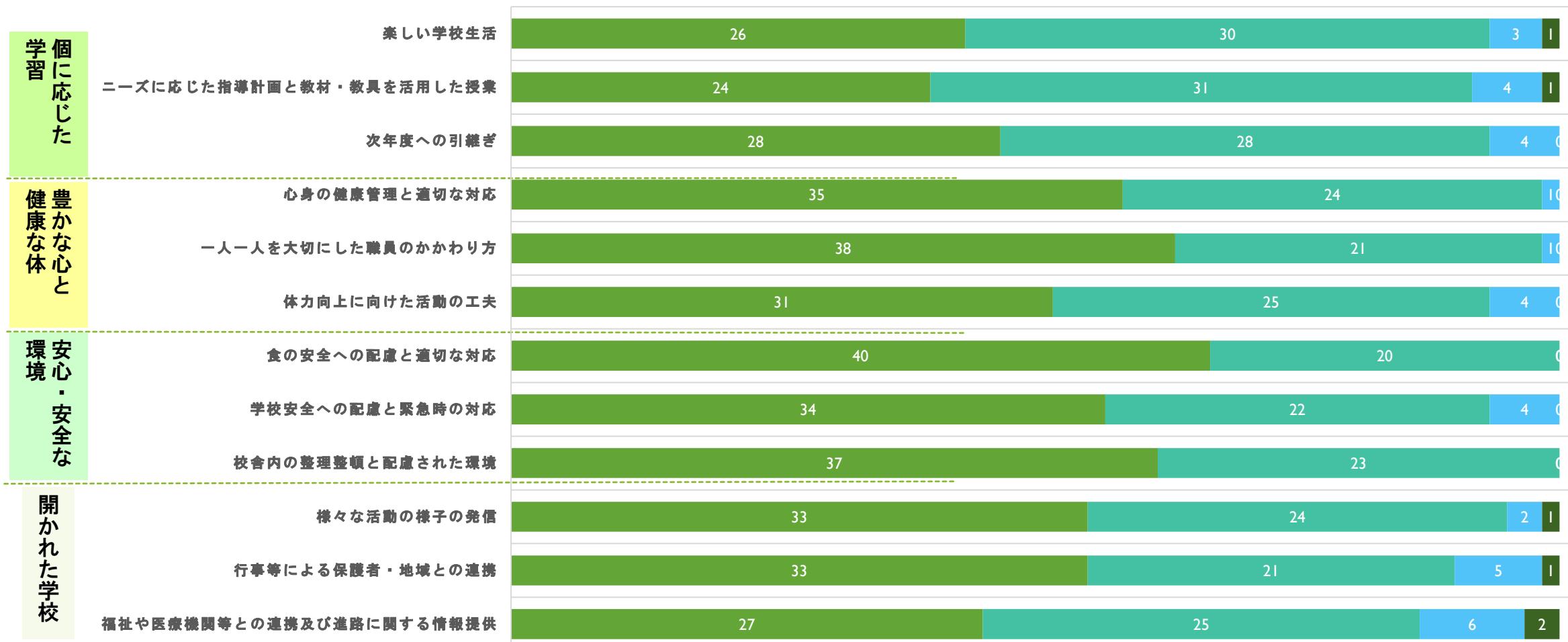
中学部学校評価の考察

②課題とすべき内容

概ね 94 %以上の評価を得られているが、「福祉や医療機関等との連携及び進路に関する情報提供」が 94.3 %であった。今年度は教職員が、医療機関に保護者と一緒に職員が出向いたり、ジョイントシートを医療機関に提出したりしてすることで、生徒への支援の仕方を主治医とも共通理解を図りながら行ったが、福祉機関等との連携もさらに進めていきたい。また、トイレの衛生面についても配慮していきたい。

高等部

■A ■B ■C ■D



高等部学校評価の考察

①高評価を得た内容

「校舎内の整理整頓と配慮された環境」「食の安全への配慮と適切な対応」が100%と高評価である。「心身の健康管理と適切な対応」「一人一人を大切にした職員のかかわり方」については昨年度より評価が上がっている。これは、普段と異なる様子があればすぐに職員間で情報共有をして支援にあたったり、生徒本人と相談しながら対応方法を考えたりすることを大事にしてきたことが評価につながったと考える。今後も、週に1回は設定している生徒指導交流を継続し、学年内だけでなく学部全体での生徒理解にも努めていきたい。

高等部学校評価の考察

②課題とすべき内容

「福祉や医療機関等との連携及び進路に関する情報提供」が、昨年度と変わらず今年度も課題である。福祉や医療機関等との連携については、診察時の付き添いやジョイントシートの活用により支援の工夫につなげることができた。しかし、進路に関する情報提供については、情報提供の場を増やしたり広げたりすることには努めたが、一人一人のニーズに合わせてどの保護者にも進路を考えていくことができる支援の提供という点では、検討の必要がある。本人や保護者の願いや考え方の把握にさらに努めたり、職員の研修を設定したりしていきたい。

保護者

■ A ■ B ■ C ■ D

楽しい学校生活



学習個に応じた

ニーズに応じた指導計画と教材・教具を活用した授業



次年度への引継ぎ



心身の健康管理と適切な対応



一人一人を大切にした職員のかかわり方



体力向上に向けた活動の工夫



食の安全への配慮と適切な対応



学校安全への配慮と緊急時の対応



校舎内の整理整頓と配慮された環境



様々な活動の様子の発信



行事等による保護者・地域との連携



福祉や医療機関等との連携及び進路に関する情報提供



教職員

■ A ■ B ■ C ■ D

楽しい学校生活



ニーズに応じた指導計画と教材・教具を活用した授業



次年度への引継ぎ



心身の健康管理と適切な対応



一人一人を大切にした職員のかかわり方



体力向上に向けた活動の工夫



食の安全への配慮と適切な対応



学校安全への配慮と緊急時の対応



校舎内の整理整頓と配慮された環境



様々な活動の様子の発信



行事等による保護者・地域との連携



福祉や医療機関等との連携及び進路に関する情報提供



開かれた学校

豊かな心と

安心・安全な

評価の考察

①高評価を得た内容

- 「食の安全への配慮と適切な対応」 A+B 100%

*アレルギー対策・衛生面に配慮した安全な給食の実施が評価された。

- 「一人一人を大切にした職員のかかわり方」 A+B 98.8%

*「楽しい学校生活」も昨年度より改善されており、チーム担任制のひとつの成果と考える。

評価の考察

②課題となる内容

- 「福祉・医療機関等との連携及び進路情報」 A+B 91.3%

*研修等を通して高等部教員の進路に関する専門性をさらに高めるとともに、保護者と事業所等が直接話をする機会をより周知し、活用していただけるようにすることが必要である。

- 「指導計画と教材・教具の活用」 A+B 94.8%

*「評価は昨年度とほぼ同程度である。」「学校での授業内容等を懇談などを通して保護者と共有するとともに、既存の教材やICT機器のさらなる活用を図りたい。」

評価の考察

③改善された内容（R6→R7）

- 「楽しい学校生活」 A+B 93.7%→97.6% (+4P)

*個々の児童生徒のニーズや思いに合った授業等の工夫ができた。

*「一人一人を大切にした職員のかかわり方」の評価が相関的に向上していることから、チーム担任制を導入したことでの、多面的・多角的な児童生徒の情報共有と支援が可能となり、一定の成果が得られたと考える。